



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2013年2月号 No.331

小鳥の森で観察してみよう 20

ベニマシコ

分類：アトリ科

大きさ：15cm

生態：冬に低地～山地の林に小さな群れで生活します。口笛のような声で「ヒッ、フォッ」と鳴きます。

小鳥の森での観察：開けた草地のある五本松沼周辺で見かけることがあります。

ペンチ状の口ばしは、木の実を割って食べるのに適した形をしています。



おなかが赤い色をしています。

今回のイラストは、ほんだまゆかさんが描いてくれました。

1月の自然

1月はネイチャーセンター周辺でウソを見かけることが多くなりました。例年だと春にサクラの花芽を食べている姿を確認しますが、今年はずいぶん早目に訪れたようです。

一方、ミソサザイは1月5日に見かけ、例年ですと12月に確認していたので今年は遅い確認になりました。みなさんの周りの冬鳥はいかがだったでしょうか。

今冬の冬鳥の初認日

10月2日	ルリビタキ	10月26日	クロジ
10月4日	ゴジュウカラ		ウソ、アオジ
10月6日	ビンズイ	10月28日	キクイタダキ
10月8日	ヒガラ		ツグミ
10月18日	ジョウビタキ	10月30日	マヒワ
10月23日	トラツグミ	11月30日	ベニマシコ
10月25日	カシラダカ	1月5日	ミソサザイ

2月の自然予報

2月になり雪が減ってくると、フキノトウが地面から出ているのを見かけるかもしれません。しかし、実はフキノトウ、早いものは秋に出ているのを知っていましたか？今冬は12月22日に園内の落ち葉の間から顔を出しているのを確認しました。

1月にまとまった雪が積もりましたが、いきものは徐々に春の準備をしているようです。

12月に見つけたフキノトウ



雪の上の足あとは誰かな？

地面に雪が積もると色々な生き物の足あとを見かけることがあります。小鳥の森ではタヌキやリス、ハクビシン、ノウサギなどの足あとを見かけます。生き物によって指の数や歩き方など特徴があるので観察してみましょう。意外と身近に色々な生き物がすんでいるかもしれません。

タヌキ



丸みがある足跡で4本の指跡に爪もあります。

リス



小さな細長い足跡で、大きな後ろ足が前に残ります。

ハクビシン



5本の指跡と爪痕がはっきりと残りやすい。センター周辺でよく見かけます。

ノウサギ



大きな後ろ足が前に、後ろに前足が残ります。爪の跡はありません。園内の色んなところで見かけます

お山の大将あつまれ報告

1月19日～20日にお山の大将あつまれでフォレストパークあだたらに行ってきました。

雪もたくさんあり、みんなで雪遊びやネイチャーゲームをして楽しく遊んでできました。夜は鍋を囲み美味しく夕食をいただきました。

フォレストパークあだたらでの様子



小鳥の森でみい～つけた②

ネイチャーセンターの窓越しに見えるコナラの木にアオゲラとメジロ、エナガ、ヒヨドリなどの野鳥がやって来ます（下の写真の左からの順）。

よく観察してみるといつも同じような所にとまっています。どうやらお目当てはコナラの樹液のようです。初めて目にしたのはアオゲラでしたが、その後メジロやエナガ、ヒヨドリの姿が見られました。エナガは5、6羽の群れでやってきて一緒になめていました。

コナラの樹液といえば夏のカブトムシやクワガタが有名ですが、食べるものが限られる冬には野鳥の貴重な食べ物になっているようです。

樹液を吸っていた野鳥



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

※小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2013年2月号No.331/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま